

謝 辞

本研究の推進に当たりましては、研究協力機関及び地域実践研究参画地域の教育委員会の皆様、そして、教育委員会用「インクル COMPASS（試案）」に対し、御意見や要望等をお寄せいただいた教育委員会の関係者の皆様には、御多忙の中、多大なる御協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。そして、研究協力者の皆様におかれましても、研究協議会をはじめとした様々な機会において、専門的な見地から、多くの御示唆とアドバイスをいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

皆様のお力添えによって、教育委員会用「インクル COMPASS」を作成、提案するに至りました。現在、各地域、園や学校においてインクルーシブ教育システムの構築に向けた様々な取組がなされています。これらの主体的かつ創造的で、地道な取組状況を振り返ることで、その取組の価値や意義を確認し、さらなる取組を推進していくためのツールとして、「インクル COMPASS」が、教育委員会や園・学校で活用されること、そして実践が展開されていくことを期待しております。

また、研究協力機関の協力の下、園・学校用「インクル COMPASS」を活用した主体的取組の事例について、各取組の特徴とポイントを分かりやすくまとめ、冊子として刊行することができました（「ここにヒントがある！インクルーシブ教育システムを進める 10 の実践」）。併せて、「インクル COMPASS」をより多くの関係者に活用いただけるようガイドも作成しましたので、参照いただき、「インクル COMPASS」を活用する中で、関係各位の御意見・御批評をいただければ、幸甚に存じます。

最後になりましたが、5年間に渡る研究の中で、子供たちの生き生きした活動を創りだしている園や学校の姿、そして、教職員が互いの立場を理解し合いながら、共に子供たちの教育活動を支え、可能性を引き出そうとされている様子、そして、共生社会の形成を我が地域からと熱い思いで取り組んでいらっしゃる教育委員会や教育センターの皆様から、たくさんの学びをいただき、教育の素晴らしさと可能性を実感いたしました。心より感謝申し上げます。

研究代表者 星 祐子